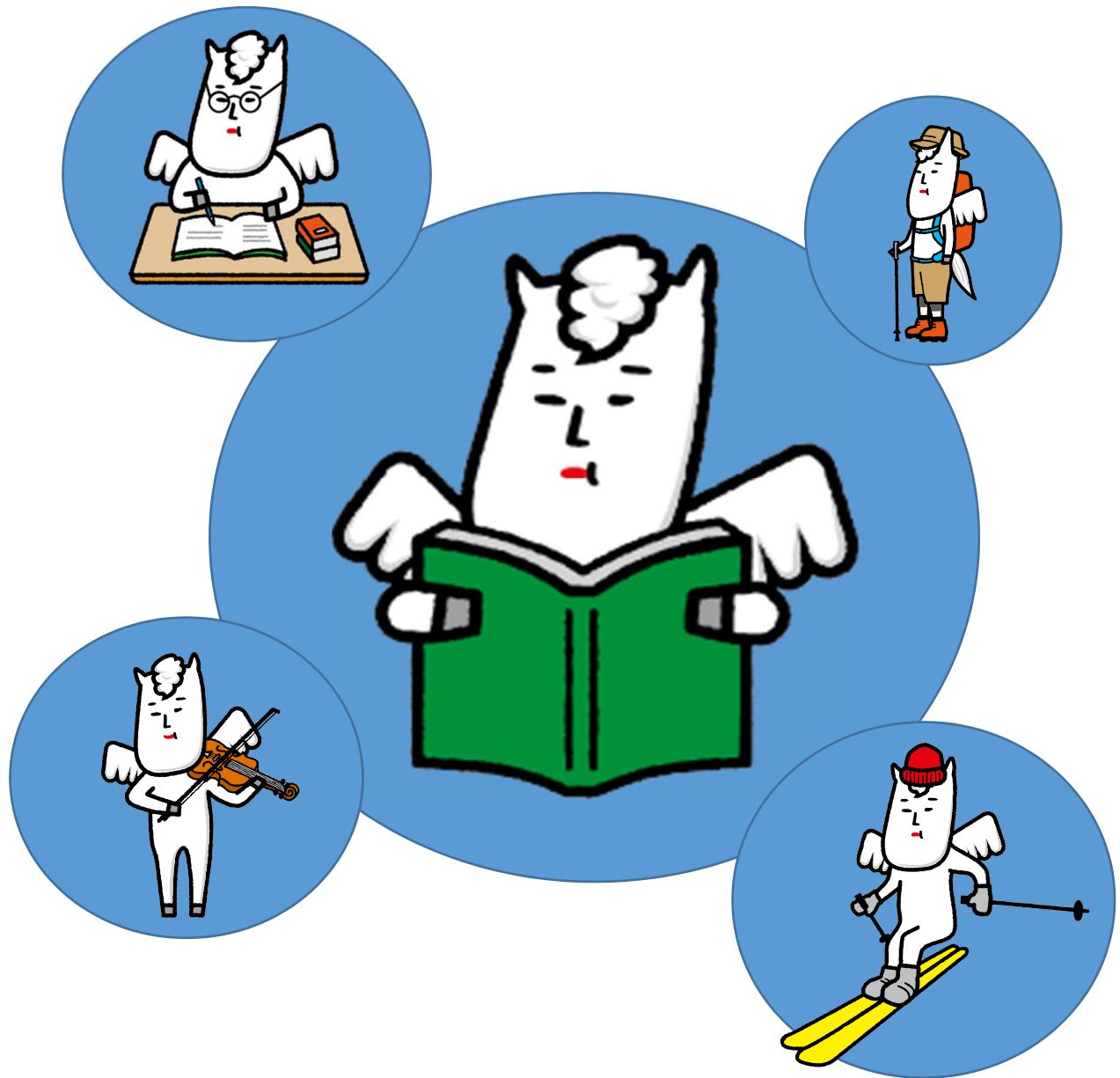


白馬村教育振興基本計画

(計画期間 令和6年度から令和10年度)



白馬村キャラクター
ヴァイトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世

白馬村教育委員会

目 次

第1章 計画の策定にあたって	2
経過	
計画の位置づけ	
計画期間	
第2章 基本理念	3
基本理念	
第3章 基本目標	
①学校教育の基本目標	4
②生涯学習の基本目標	5
③スポーツ・文化振興の基本目標	6
第4章 重点施策	
(1) 学校教育の重点施策	8
(2) 生涯学習の重点施策	10
(3) スポーツ・文化振興の重点施策	11
第5章 資料	13
1 白馬村教育振興基本計画策定のためのアンケート調査報告書	14
2 白馬村の児童数推計	27
3 施設改修計画	28
4 白馬村図書館等複合施設について	29

第1章 計画の策定にあたって

経 過

教育振興基本計画は、平成18年（2006）年12月の教育基本法改正において、同法第17条第1項により、「国は教育の振興に関する基本的な計画を定めること」が規定されました。また、同条第2項では、「地方公共団体は国の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努める」ことが規定されています。また、平成27年（2015年）4月には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育行政の責任を明確にするため、「教育委員長と教育長の一本化」や「地方公共団体の長による総合教育会議の設置」、「地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定める」など、地方公共団体の教育行政の仕組みは大きく変わりました。

長野県においては、第3次長野県教育振興基本計画の目標年度を迎えるなかで、令和5年（2023）に改正された5カ年計画として、第4次長野県教育振興基本計画が、発表されています。白馬村では国や県の教育政策、社会を取り巻く環境の変化を踏まえた上で、令和2年（2020）に、白馬村第5次総合計画の目標を達成するための教育行政の方向性を、白馬村教育大綱として定め、その計画年度を令和7年（2025）までとしています。また、村内小学校の老朽化や人口減少に伴う少子化予測を見据えるなかで、今後の学校のあり方について、「学校のあり方検討委員会」に諮問し、3年度に答申書が提出されました。答申書では少人数教育や、学校配置などのメリットやデメリットについての検討した結果や、今後の学校のあり方については広く住民の意見を聞くべきと記されています。教育委員会では、小中学校の教育や学校施設のあり方などについて、広く村民アンケートを行いながら、今後の白馬村教育の目指すべき方向性を模索してきました。

この教育振興基本計画は、このような社会情勢や村民アンケートの結果を踏まえ、白馬村総合計画や白馬村教育大綱の目標達成に向けての具体的施策と目標を定めるとともに、令和5年度に改正された長野県教育振興基本計画を参酌しながら、白馬村における教育振興の基本的事項を定めるものです。

計画の位置づけ

本計画は、教育基本法第17条第2項の規定に基づき白馬村が定める、教育の振興のための施策に関する基本的な計画であるとともに、白馬村第5次総合計画に対応する白馬村教育大綱の個別計画としての性格を有しています。

計画期間

本計画は、参酌する長野県教育振興基本計画の計画期間を踏まえ、令和6年度（2024）を初年度とし、令和10年度（2028）を目標年度としますが、白馬村第5次総合計画が令和7年度（2025）までの計画であるため、それに合わせて見直しを行うものとします。

基本理念

白馬村第5次総合計画基本構想

「白馬の豊かさとはなにか -多様であることから交流し学び合い成長する村-」

白馬村教育大綱

「問い続け 学びあい 成長する」

白馬村教育大綱では、白馬村第5次総合計画基本構想の基本理念「白馬の豊かさとはなにか -多様であることから交流し学びあい成長する村-」を実現するために、「問い続け 学びあい 成長する」を基本理念としています。これらの基本理念をもとに、最終的に白馬村第5次総合計画の目標を達成することを、長野県教育推進基本計画を参酌するなかで、ともに学びあい、成長し、村民一人ひとりが「個人と社会のwell-being」を感じることができるよう

「それぞれのWell-beingを目指して」

学校、生涯学習、スポーツなどの分野において、具体的に施策を定めて進めていきます。



※well-being

「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。(日本 WHO 協会仮訳)」

第3章 基本目標

白馬村教育大綱の基本方針に基づき、本計画における各施策の基本目標を定めます。

①学校教育の基本目標

教育大綱の基本方針	教育大綱に基づく教育振興基本計画における基本目標
<p>1) 確かな学びと豊かな人間性を育む教育の充実</p> <p>・小中学校の連携を強化し、学力向上対策委員会における横断的・具体的な検討を行い、主体的で対話的な学びを充実させます。</p>	<p>1) 課題に向かう主体的な学びと個別に最適な学びで学力向上を目指します。</p> <p>・児童生徒の特性に合わせた学びで、習慣化と学力の向上を目指します。</p> <p>・日本語指導が必要な児童生徒の学びや、登校に困難さを抱える児童生徒の学びを評価、支援します。</p>
<p>2) 地域の教育機能の活用</p> <p>・保護者や住民の学校運営の参画に取り組みます。英語力の向上や、郷土の魅力を知るための地域学習など各校の取り組みを支援します。</p>	<p>2) 多様な他者との対話・協働による「世界を知り、郷土を学ぶ」探求的な学習を推進します。</p> <p>・地域の課題解決やSDGsなど、小学校から中学校まで一貫した問題を探求する学習を研究します。</p> <p>・地域の子どもは地域で育てるために、学校運営協議会を中心に開かれた学校を目指します。</p> <p>・職場体験、文化財研究、民間教育機関や白馬高校との連携を進め地域や世界の事を知る学習を進めます。</p>
<p>3) 安心・安全で充実した教育環境の整備</p> <p>・ネットワーク環境を整備しながら必要な教育コンテンツを導入することでICT教育を推進します。学校施設は計画的に設備更新等を進め安全を確保するとともに学校の適正規模及び適正配置、施設等の整備についても計画的に推進します。</p>	<p>3) 中長期計画による学校施設の整備と、デジタル教材を活用した教育を進めます。</p> <p>・1人1台端末やデジタル教材を活用し、個別に最適な学びや授業改善を研究します。</p> <p>・学校施設の長寿命化を計画的に行なうとともに、今後予測される児童数の減少を見据え、学校規模や配置、学校教育の方針を意見交換しながら決定します。</p>
<p>4) 地域を担う人材の育成</p> <p>白馬高校への支援を通じて、国際山岳観光地である本村を担う人材の育成を目指します。</p> <p>※グローバル(glocal)とは、「global(地球規模の)」と「local(地域的な)」を合わせた造語で、地域性を考慮しながら地球規模の視点で考え、行動することを表した言葉です。</p>	<p>4) 白馬高校と連携し、地域を担う人材の育成を目指します。</p> <p>・白馬村の地域資源を最大限に活用し、国際的な視野と地域視点で行動するグローバル(※)な人材の育成を行いません。</p> <p>・地域から、環境・観光、国際を軸とする探求的な学びの機会を提案し、個々のキャリアデザインの具体化支援を行いません。</p>

②生涯学習の基本目標

教育大綱の基本方針	教育大綱に基づく教育振興基本計画における基本目標
1) 学びを支える生涯学習の推進	1) 生涯にわたり誰もが学びあえる拠点として、公民館を核とした生涯学習を推進します。
<ul style="list-style-type: none"> 公民館を地域コミュニティの核とし住民ニーズや地域の実情に応じた多様な学習機会を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の役割である「集い・学び・ふれあい」を重んじ、住民の学習ニーズを踏まえて暮らしに役立つ知恵や技術を学び合うことで、人づくり・地域づくりに貢献します。 村民が一堂に会してスポーツや文化活動を楽しむ機会から、世代や地域を超えた交流を創出します。
2) 図書館の整備	2) 効率的な図書館の整備・運営を進めます。
<ul style="list-style-type: none"> 住民の暮らしと文化振興の活力となるよう公共図書館を整備します。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と情報をすべての人が平等に利用できるよう、資料の収集や保存、活用に取り組み、デジタル技術も活用しながら一人ひとりの学びに貢献します。
3) 人権教育の推進	3) 人権について考える機会を作ります。
<ul style="list-style-type: none"> 人権教育の学習機会を充実し、あらゆる偏見や差別のない社会を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの存在や考え方、生き方が尊重され、あらゆる差別や偏見のない社会を実現するために、人権について学び考える機会を設けます。
4) 青少年健全育成事業の推進	4) 地域で子どもを見守る機運を醸成します。
<ul style="list-style-type: none"> 安全でよりよい社会環境を確保するためのパトロールや啓発事業に取り組むとともに子ども会育成会との連携により子ども同士で助け合い健全な心を育てる環境づくりを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 次の世代を担う子どもたちの健やかな育ちのために、様々な交流体験機会を創出するとともに、地域全体で成長を見守る機運を醸成します。

③スポーツ・文化振興の基本目標

教育大綱の基本方針	教育大綱に基づく教育振興基本計画における基本目標
1) スポーツによる健康増進	1) 生涯学習として、スポーツに触れる機会を確保します。
<ul style="list-style-type: none"> 住民の誰もが生涯を通じてスポーツに親しむよう、スポーツイベントやスポーツ教室を開催しスポーツを通じたコミュニティづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 白馬村スポーツ協会、スポーツ推進委員会、(一社)白馬村スキークラブ等と連携した各種教室、イベント、大会を実施します。 村民の生涯スポーツ、高齢者及び障がい者スポーツの推進のための各種教室、イベントを開催することにより健康増進を図ります。
2) 子どもが日常的に楽しくスポーツに取り組むことができる環境づくり	2) 子どもがスポーツに親しむきっかけづくりと、指導体制の整備を進めます。
<ul style="list-style-type: none"> 幼少期からのスポーツ習慣化を図るとともに体力づくりの基礎を養う環境を整備します。 	<ul style="list-style-type: none"> 少年スポーツ祭、各種教室、体験会の開催やスポーツ少年団の活動支援により、子どものスポーツ活動の充実と体力向上の推進を図ります。 中学校部活動の地域クラブ活動への移行を行い、スポーツを行う環境を整えます。
3) スポーツ競技者の競技力向上	3) スポーツ競技者の競技力向上に向けた環境整備を支援します。
<ul style="list-style-type: none"> 継続的な指導者の確保に努め全国や世界で活躍できるトップレベルの競技者を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 白馬村スポーツ協会及び白馬村スポーツ少年団、(一社)白馬村スキークラブとの連携により選手のレベルに応じた指導体制を確立すると共に支援及び協力、助成を行います。 世界大会、全国大会の開催及び支援によりトップレベルの競技者の育成を行います。
4) スポーツ施設の整備及び充実	④計画的にスポーツ施設の整備を行い、利用の充実を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> 村内の公共スポーツ施設の計画的な修繕や更新を進めるとともに施設の有効な利用を図り利用者ニーズに応えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 村内社会体育施設等の各施設について施設整備計画に基づき整備を行います。 白馬村スポーツ協会等の利用団体や区等と協力した施設整備の実施、施設を利用する個人、団体に施設の使用ルールの徹底を行います。

<p>5) 芸術文化の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会文化振興団体の支援やウイング 21 ホールなどでの芸術鑑賞の実施を通じて、芸術文化に触れる機会を提供します。 	<p>5) 住民の主体的な文化芸術活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽や伝統芸能など様々な芸術文化に触れる機会を創出するとともに、一人ひとりの自己実現と人々のつながりをつくるために住民の主体的な文化芸術活動を支援します。
<p>6) 先人が築いた有形・無形文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統と文化を尊重する精神を育み、村に伝わる有形・無形の文化を継承するとともに文化財の保護と活用を図ります。 	<p>6) 文化と自然環境を保護し、様々な場面での活用を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山やスキーなど先人が切り拓いた山岳文化や稀少な動植物を含め、地域に残る歴史的・文化的資源や自然環境を適切に保護し、教育やまちづくり・観光等に活用します。 ・地域にねざす歴史・文化の継承を図るために公民館講座等を活用して、リカレント教育（学び直し）の充実を図ります。
<p>7) 登山・スキーの歴史・文化の継承</p>	<p>→6) に統合</p>
<p>先人が切り拓いた山岳の歴史・文化を次世代に継承し、幅広い住民が登山やスキーなどに親しむ機会を増やします。</p>	
<p>8) 自然環境保護</p>	<p>→6) に統合</p>
<p>自然環境を保全することが、特に必要な区域における生物の多様性の確保や、その他の自然環境の適切な保全を推進します。</p>	

第4章 重点施策

前章に記した基本目標を達成するための重点施策と成果指標を次のとおりとしました。

成果指標は、定量的な「客観的指標」に加え、幸福感や自己実現等といった主観に基づく要素を「主観的指標」として設定しました。なお、数値目標を設定することが適切ではない主観的指標は、「現状以上」等の傾向で表しました。

(1) 学校教育の重点施策

①課題に向かう主体的な学びと個別に最適な学びで学力向上を目指します。

- ・学習者主体の学校づくりに向けた研究

～具体的な施策～

学力向上委員会で、地域資源を掘り起こし探求的な授業案を研究

- ・自ら学習を調整して（個別に最適化）学べる環境の整備

～具体的な施策～

通常の教室に入りづらい児童生徒が学ぶための教室を設置し、学校に居場所を確保

多様な児童生徒に対応するため、日本語指導を行う支援員やボランティアの配置

- ・学校以外の「学びの場」との連携を強化し、多様な学びの充実

～具体的な施策～

子ども第三の居場所事業や、特性をもつ子どものための支援団体との連絡調整

長野県認証フリースクールとの連携や、中間教室などの設置を研究

【成果指標】

主観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
学校が楽しいと答える児童生徒数	84.2%	現状以上	学校評価アンケート
授業が分かると答える児童生徒数	86.6%	現状以上	学校評価アンケート

②多様な他者との対話・協働による「世界を知り、郷土を学ぶ」探求的な学習を推進します。

- ・職場体験や文化財保護、地域を知る学習などにより郷土の魅力を確認し、郷土愛を育む教育

～具体的な施策～

SDGs や防災学習を通じた地域学習の積極的な取り込み

- ・学校づくりや地域づくりを支援するコーディネーターの育成や学習ボランティアなどの確保

～具体的な施策～

地域学校協働推進員を中心に、地域住民が学校に関わる機会の増

学校や生徒のニーズに応じた学習ボランティアの増

- ・移住者や多様な人との交流により、英語力の向上と国際的な視野の拡大

～具体的な施策～

インターナショナルスクールや白馬高校生との学びあいの場の創出

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
学校支援コーディネーター選任数	1	3	各校1名の選任を目指す
インターナショナルスクールとの交流回数	1	4	事務局調査 学期に2回を目指す
主観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
地域のことに誇りをもつ児童生徒数	88%	現状以上	学校評価アンケート

③中長期計画による学校施設の整備と、デジタル教材を活用した教育を進めます。

・デジタル技術を活用した学び方の選択

～具体的な施策～

1人1台端末を利用して、個人の学ぶスピードに応じたドリルソフトや学習方法の導入
 コグトレやデジター教科書など、特性を持つ子に対する学習支援ソフトの導入

・デジタル教材の利用促進のために ICT 支援員を配置

～具体的な施策～

サードパーティー製アプリの安全性検証と有効利用の助言

・1人1台端末の計画的な更新

～具体的な施策～

令和6年度 中学生2学年分更新、令和7年度 中学生1学年分、令和8年度 小学生更新

・児童数減少を見据え、適正な学級数や学校規模を広く住民と対話する機会を設け方針を決定

～具体的な施策～

学校運営協議会、PTA 総会などから意見交換を始め、村民まで拡大

※施設整備等は成果指標を定めない。

④白馬高校と連携し、地域を担う人材の育成を目指します。

・小中高連携しながら環境授業などを研究

～具体的な施策～

SDGsの目標の中から、環境と地域資源をテーマにし、地域課題解決型授業を研究

・入学者の全国募集活動への協力による生徒数の確保

～具体的な施策～

地域みらい留学への参画、都市部への説明会開催などを実施

・進学希望を実現するため、公営塾の運営による学力の向上

～具体的な施策～

特進コースや資格取得コースの充実により進路希望を実現

・白馬村が第2の故郷となるように、寮や下宿を確保

～具体的な施策～

しろうまファミリー制度や下宿数を増やし、白馬村が第2の故郷になるように支援

- ・学校と白馬山麓事務組合が連携し、白馬高校の特色ある教育を柔軟に支援

～具体的な施策～

学校と事務組合をつなぐコーディネーターの雇用で連携強化

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
白馬高校入学者数	54	70	現状より増加することを設定
高校と地域をつなげるコーディネーター数	1	3	現状より増加することを設定

(2) 生涯学習の重点施策

①生涯にわたり誰もが学びあえる拠点として、公民館を核とした生涯学習を推進します。

- ・住民ニーズ・時代の変化に応じた多様な公民館講座の企画、運営

～具体的な施策～

公民館行事（はくば塾、ふれあい教室、里山道中、歴史紀行）、村民運動会、文化祭の開催

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
公民館講座数・受講者数	19 講座・760 名	20 講座・800 名	現状より増加することを設定
村民運動会参加者数	400 人	600 人	現状より増加することを設定
文化祭出展・出演団体数	71 団体	80 団体	現状より増加することを設定

②効率的な図書館の整備・運営を進めます。

- ・図書館の基本理念である「一人ひとりの成長に寄り添い、共に創る図書館」の実現

～具体的な施策～

図書館の多文化、多言語サービスの展開、資料の充実（一般図書・地域資料等）

デジタル技術の活用（デジとしょ信州利用促進）で、情報量を確保

子どもの読書活動を推進し、児童図書の充実、読み聞かせ等のイベントなど図書館に親しむ機会を創出

図書館ボランティアとの協働で、公立図書館への住民参加を促進

図書館と学校・美術館・公民館等との連携を目指し、多様なニーズに対応

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
図書館来館者数・貸出者数 (有効登録者数)	来館者:9,398 人 貸出者:712 人	来館者:15,000 人 貸出者:1,000 人	現状より増加することを設定
デジとしょ信州登録者数(累計)	75人	200 人	現状より増加することを設定

③人権について考える機会を作ります。

- あらゆる偏見や差別をなくし、お互いを尊重しあう機運の醸成

～具体的な施策～

人権に関する啓発・情報発信・講座・行事等の開催により人権意識の高揚

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
人権に関する講座・行事開催回数	2回	3回	現状より増加することを設定

④地域で子どもを見守る機運を醸成します。

- 地域の子どものみんなで育てる意識と様々な体験機会の創出

～具体的な施策～

子ども・青少年の健全育成に関する啓発・関係者との情報共有で見守る体制作り

多様な体験機会の創出（子ども会育成会や公民館等との連携）を通じた青少年健全育成

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
村主催子ども会行事参加者数	230人	250人	現状より増加することを設定

(3) スポーツ・文化振興の重点施策

①生涯学習として、スポーツに触れる機会を確保します。

- スポーツによる健康増進とコミュニティづくりの推進

～具体的な施策～

スポーツに親しむ機会の充実と生涯スポーツの推進、高齢者や障がい者スポーツの推進のための大会や体験会を開催

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
スポーツ教室等参加者数	3,991人	3,500人	事務局調査

②子どもがスポーツに親しむきっかけづくりと、指導体制の整備を進めます。

- 幼少期からのスポーツの習慣化と環境整備

～具体的な施策～

子どものスポーツ活動の充実による体力向上の推進を目指し、スポーツ少年団などの活動を補助し、スポーツをする子どもの数を増やすとともに、指導者の確保

部活動の地域移行に向け、生徒やPTAなどからのアンケートや意見交換

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
スポーツ団体登録者数	スポーツ協会 870 人	750 人	少子化における登録者確保
	スポーツ少年団 223 人	180 人	
	スキークラブ員登録 369 人	320 人	
	ジュニア登録 115 人	90 人	

③スポーツ競技者の競技力向上に向けた環境整備を支援します。

- ・全国や世界大会で活躍するスポーツ競技者の育成と支援

～具体的な施策～

指導者と選手の育成支援を施設と運営面からサポートする体制づくり

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
スポーツ功労賞等受賞者数	スポーツ功労賞 8 人	12 人	事務局調査
	スポーツ大会激励金 7 人	20 人	

④計画的にスポーツ施設の整備を行い、利用の充実を図ります。

- ・スポーツ施設の計画的な修繕と有効利用

～具体的な施策～

計画的なスポーツ施設の整備と、スポーツ推進のための各種教室、スポーツ団体登録者の確保、各施設の利用者の増加に向けた取組み

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
スポーツ施設利用者数	社会体育施設 61,652 人	70,000 人	事務局調査
	ウイング21 74,684 人	80,000 人	
	クロスカントリー競技場 10,903 人	12,000 人	

⑤住民の主体的な文化芸術活動を支援します。

- ・関係団体との連携・協力による文化芸術に触れる機会の創出

～具体的な施策～

各種団体と連携した文化芸術公演の開催

ウイング 21 ホール友の会の活性化

文化振興団体の活動支援

ウイング 21 ホールの利活用検討（合宿誘致等）

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
芸術文化公演開催回数・来場者数	6 公演、1,592 人	6 公演、1,800 人	現状より増加することを設定
文化振興団体登録団体数・構成人数	40 団体、人	45 団体、人	現状より増加することを設定

⑥文化と自然環境を保護し、様々な場面での活用を進めます。

- ・地域への誇りの醸成と知己資源の保存と活用、継承

～具体的な施策～

- 山岳文化に関する情報発信
- 地域の歴史・文化・自然に関する公民館講座や行事の実施
- 歴史民俗資料館の有効利用
- 山とスキーの総合資料館との連携
- 重要伝統的建造物群保存地区青鬼の保存と活用
- 地域の文化財に関する副読本の作成

【成果指標】

客観的指標	現 状	目 標	目標設定の考え方等
村民登山参加者数	27 人	30 人	現状より増加することを設定
震災アーカイブサイトアクセス数	4,000 アクセス／年	5,000 アクセス／年	現状より増加することを設定

第5章 資料

1 白馬村教育振興基本計画策定のためアンケート調査報告書

令和 4 年度に、児童生徒、保護者、教職員及び一般村民の皆さんを対象に行ったアンケートの集計結果と検証をまとめました。

2 白馬村の児童数推計

経済産業省のデータベース「RESAS」データをもとに今後の児童数を推計しました。

3 施設改修計画

令和 10 年度までにおける白馬村教育委員会事務局管理の施設改修計画をまとめました。

4 白馬村図書館等複合施設について

図書館や子育て施設などを複合施設として建設すべく検討を行ってきました。その経過と今後の整備方針についてまとめました。